

プロジェクトチームによる検討事項

1 国府道の駅の必要性

前面道路の交通量の大小の議論だけではなく、本市にとって国府道の駅が重要な拠点であることをビジョンとして示す。

2 有識者会議の進め方

(1) その上で、今後の進め方について想定（プロジェクトチーム）

↓

(2) 問題点の整理（プロジェクトチーム）

↓

(3) それぞれの評価・提言（有識者会議での議論）

↓

(4) 進むべき方向性の決定（徳島市が決定）

3 プロジェクトチームでの想定パターン（案）

(1) 現計画のまま整備

(2) 段階的整備（現計画を2段階で整備する）

レストラン棟、本館棟のいずれかを先行させる。

(3) 規模を縮小し整備（現計画を見直し、規模・面積の縮小等を行う）

レストラン、軽飲食施設（数を含む）、産業振興ギャラリー、加工所、共有部分などの規模・面積を整理する。

(4) 機能を整理し整備（現計画の機能を見直す。）

(5) 整備時期も含めて検討